

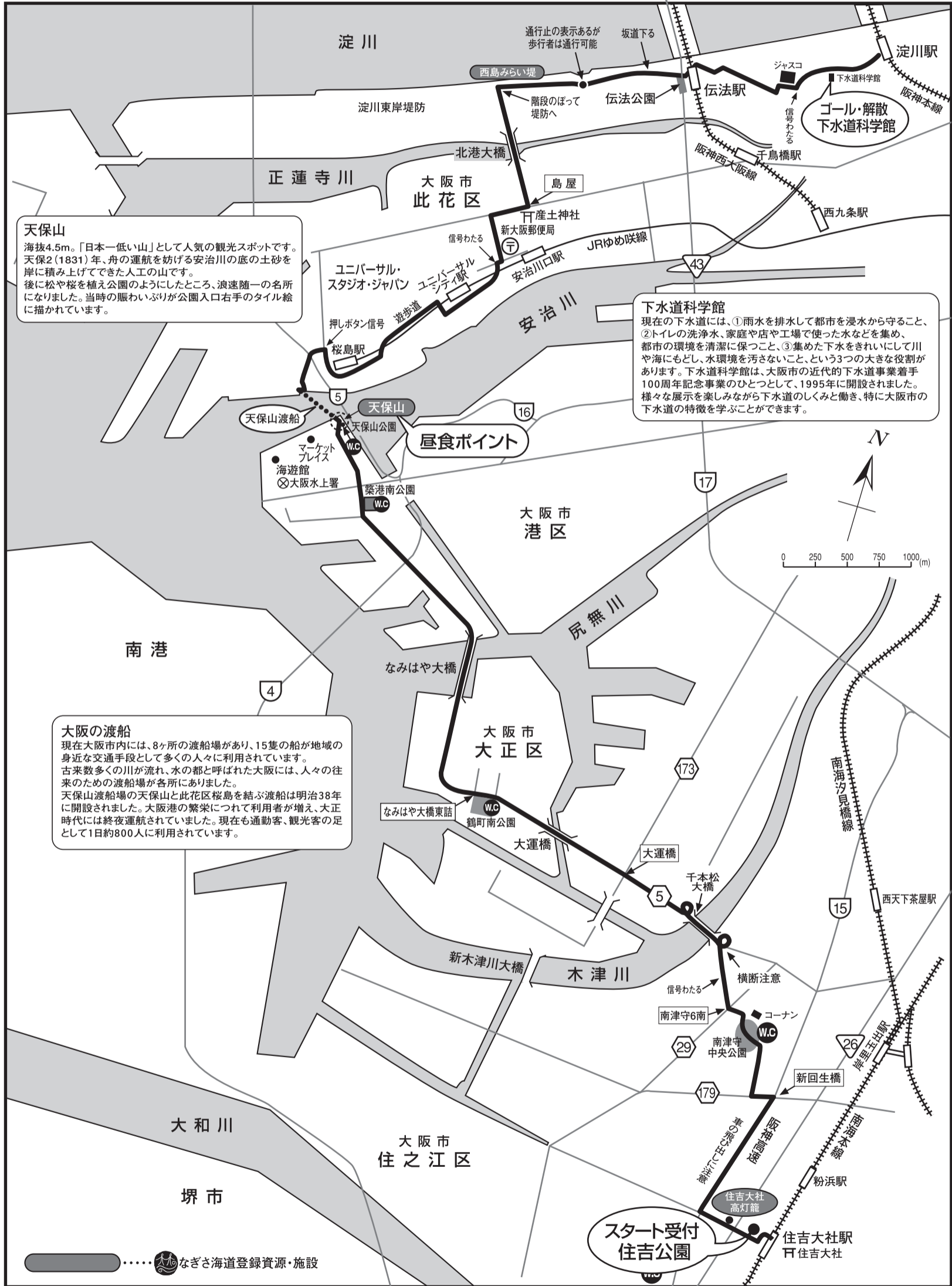
# 2006年南海・阪神 なぎさ海道 ウォーク

— 南海沿線から阪神沿線へ — [大阪ベイエリア・天保山から大阪市下水道科学館へ]

第1回

南海・阪神共同開催 **5月7日[日]** (約17キロ)

住吉公園<スタート受付> 2.5km 35分 → 南津守中央公園 1.2km 20分 → 千本松大橋 1.8km 35分 → 大運橋 1.6km 25分 → なみはや大橋 2.4km 45分  
 天保山 …… 天保山渡船 3.6km 50分 → 北港大橋 0.5km 10分 → 淀川堤防 3.0km 50分 → 大阪市下水道科学館<ゴール受付16時まで> 0.4km 7分 → 阪神・淀川駅



**天保山**  
 海拔4.5m。「日本一低い山」として人気の観光スポットです。天保2(1831)年、舟の運航を妨げる安治川の底の土砂を岸に積み上げてできた人工の山です。後に松や桜を植え公園のようにしたところ、浪速随一の名所になりました。当時の賑わいぶりが公園入口右手のタイル絵に描かれています。

**下水道科学館**  
 現在の下水道には、①雨水を排水して都市を浸水から守ること、②トイレの洗浄水、家庭や店や工場で使った水などを集め、都市の環境を清潔に保つこと、③集めた下水をきれいにして川や海にもどし、水環境を汚さないこと、という3つの大きな役割があります。下水道科学館は、大阪市の近代的下水道事業着手100周年記念事業のひとつとして、1995年に開設されました。様々な展示を楽しみながら下水道のしくみと働き、特に大阪市の下水道の特徴を学ぶことができます。

**大阪の渡船**  
 現在大阪市内には、8ヶ所の渡船場があり、15隻の船が地域の身近な交通手段として多くの人々に利用されています。古来数多くの川が流れ、水の都と呼ばれた大阪には、人々の往來のための渡船場が各所にありました。天保山渡船場の天保山と此花区桜島を結ぶ渡船は明治38年に開設されました。大阪港の繁栄につれて利用者が増え、大正時代には終夜運航されていました。現在も通勤客、観光客の足として1日約800人に利用されています。

- 緑を守り育てましょう！
- 交通ルールを守り車両等に十分注意してください。
- ゴミや空き缶は必ず持ち帰りましょう！
- タバコの火の後始末を確実に！

**参加条件**

- ① 健康状態のすぐれない方は参加をご遠慮ください。ご自分の体力、体調をチェックされた上でご参加ください。
- ② 参加者のけがや他に与えた損害等については、主催者は一切の責任を負いません。

● …… ● なぎさ海道登録資源・施設